

政策・土木交通常任委員会資料  
平成 24 年(2012 年)8 月 8 日  
土木交通部流域政策局

## 地先の安全度マップの公表について

## 地先の安全度マップの公表について

### 1. 目的

平成 24 年 3 月に議決を経て策定した「滋賀県流域治水基本方針 ～水害から命を守る総合的な治水を目指して～」に基づき、個々の治水施設の安全度ではなく人々の暮らしの舞台である流域内の各地点の安全度を示し、地域住民と水害リスク情報を共有するため「地先の安全度マップ」を公表します。

地先の安全度マップは、

- ・ 県民の皆さんの自宅付近の水害リスクが分かり、避難ルートや避難場所、避難のタイミングなどの地域における避難のあり方の検討
- ・ 水害リスクに応じた安全な土地利用や住まい方に活用できます。

### 2. 公表時期

平成 24 年 8 月下旬予定

### 3. 公表内容

①地先の安全度マップの概要（別紙）

②地先の安全度マップ

マップの種類	内 容	参考図
浸水深図	大雨が降った場合に想定される浸水深さを表した図	1
流体力図	大雨が降った場合に想定される水の流れの強さを表した図	2
被害発生確率図	大雨が降った場合に生じる被害の起こりやすさを表した図	3

### 4. 公表場所

県庁（全市町分）、各県土木事務所（管内市町分）、市役所・役場の関係窓口で公表

### 5. 公表方法

- ・ 市町単位で作成した A1 サイズの紙図面を上記場所において公表
- ・ 滋賀県流域治水政策室ホームページで PDF 図面を公表

<http://www.pref.shiga.jp/h/ryuiki/>

なお、滋賀県防災ポータル「滋賀県防災情報マップ」のサイトは 9 月上旬に閲覧予定

<http://shiga-bousai.jp/internet/map/index.html>

## 地先の安全度マップの概要

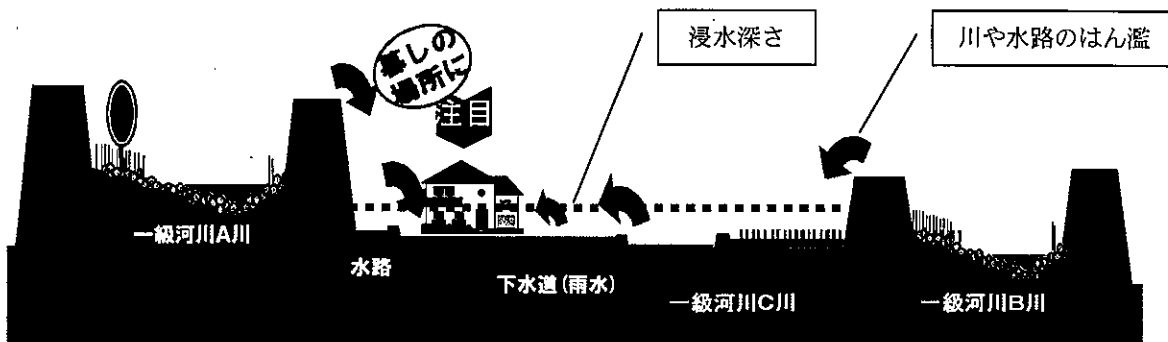
### 1. 地先の安全度マップとは

大雨が降ると集落内やその周辺を流れる水路や農業用排水路など小さな川や水路があふれる場合があります。また、さらに雨が降り続けると大きな川の堤防が決壊し、大規模な浸水被害が発生することも想定されます。

地先の安全度マップは、みなさんのご自宅やお勤め先などの場所が、どのくらいの水害リスクがあるのかをシミュレーションにより求めた図です。

どれくらいの雨の時に自宅などの近くを流れる川や水路があふれ浸水するおそれがあるのか、あふれた場合はどの程度の被害となるのかを明示したものです。

例えば、10年に一度程度降る雨（概ね1時間に50mm）、100年に一度程度降る雨（概ね1時間109mm）が発生した場合、どの程度の浸水深さとなるおそれがあるのかをご覧ください。いただくことができます。



(地先の安全度マップのイメージ)

### 2. 地先の安全度マップの使い方

地先の安全度マップで自宅等を探して確認してください。

皆さんが自らお住まい地域の水害リスクを理解され、「いつ」「どこへ」「どのようにして」避難することがよいのか、また、どのような住まい方をしたほうがよいかを考えていただくことが大切です。

滋賀県も国や市町と連携し、地域のみなさんと一緒に考え、地域防災力が向上することを目指します。

### 3. 地先の安全度マップ公表の目的

県では、「滋賀県流域治水基本方針－水害から命を守る総合的な治水を目指して－平成24年3月」に基づき、人命を守ることを最優先に考え、様々な降雨により想定される河川のはん濫や浸水の可能性を住民にわかりやすく提示することとしています。

県は、河川があふれにくくなるように、河川ごとに今後20年程度で目指すべき当面の目標を設定し、様々な手法を組み合わせる効果的に対策（「ながす」対策）を実施していくこととしています。また、「ためる（流域貯留対策）」「とどめる（はん濫原減災対策）」「そなえる（地域防災力向上対策）」も総合的に実施していくこととしています。

地先の安全度マップは、これらの様々な対策を検討する基礎情報であり、地先における河川などのはん濫や浸水の可能性を示し、地域住民のみなさんと情報共有するとともに、命を守るための避難行動や住まい方につなげてもらうためのものです。

今後、地先の安全度マップは、河川整備の進捗や地盤高の変更など、新たな情報が得られるに伴い、適切に更新します。

### 4. 対象としている範囲

山間部を除く滋賀県全域

### 5. 想定している降雨

降雨確率	10年に一度	100年に一度	200年に一度
降雨規模	最大 50mm/hr	最大 109mm/hr	最大 131mm/hr
気象予報用語	非常に激しい雨	猛烈な雨	
人の受けるイメージ	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。 恐怖を感じる	
災害発生状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、浸水対策として河川や下水道整備を進めている降雨規模</li> <li>中小河川や水路があふれ、災害が発生するおそれがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川や下水道整備の規模を上回る降雨規模</li> <li>大規模な災害の発生するおそれが強く、嚴重な警戒が必要</li> </ul>	

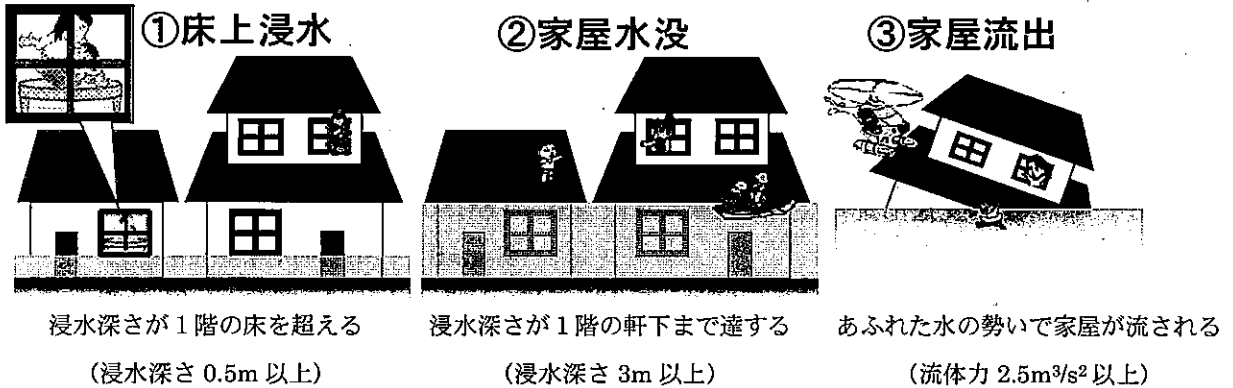
※ 降雨確率：「10年に一度」とは、彦根地方気象台の観測データをもとに10年に一度程度降る雨を想定しています。「100年に一度」「200年に一度」も同様です。

雨の強さ：「最大 50mm/hr」とは、河川の流域に1時間最大 50mm の雨が一樣に降ることを想定しています。

なお、全国では 187mm/hr（長崎県 長与町 1982年7月）、滋賀県内では山地部で 108mm/hr（高島市 河内谷 1999年9月）、102mm/hr（東近江市 御在所 2008年9月）、平野部で 84mm/hr（長浜市 長浜 2008年7月）、81mm/hr（高島市 今津 1999年9月）などが観測されています。

## 6. 被害の程度のみやす

浸水深さや流体力による被害の程度のみやすは次のとおりです。



## 7. 地先の安全度マップの公表及び種類について

地先の安全度マップは以下のリンク先「滋賀県防災情報マップ」のサイトでご覧いただけます。また、公表するマップの種類は次のとおりです。

(当面は市町単位図面のPDFを掲載)

- (1) 浸水深図：大雨が降った場合に想定される浸水深さを表した図
- (2) 流体力図：大雨が降った場合に想定される水の流れの強さを表した図
- (3) 被害発生確率図：大雨が降った場合に生じる被害の起こりやすさを表した図

※流体力図は堤防高の低い箇所が破堤する条件で作成していますが、これ以外の箇所が破堤する可能性もありますので、堤防の近くにお住いの方はご注意ください。

[「滋賀県防災情報マップ」へのリンク](#)

### 情報の種類

#### 浸水

##### 地先の安全度

##### 浸水深図

- 10年に一度の大雨が降った場合 (時間 50mm 程度)
- 100年に一度の大雨が降った場合 (時間 109mm 程度)
- 200年に一度の大雨が降った場合 (時間 131mm 程度)

##### 流体力図

- 200年に一度の大雨が降った場合 (時間 131mm 程度)

##### 被害発生確率図

- 床上浸水 (浸水深 0.5m 以上) が予想される頻度
- 家屋水没 (浸水深 3m 以上) が予想される頻度
- 家屋流失 (流体力  $2.5\text{m}^3/\text{s}^2$  以上) が予想される頻度

この地先の安全度マップは、県庁舎（県庁および各土木事務所）および市町庁舎などでも縦覧いただけます。縦覧場所など以下のとおりです。

<図面設置場所および問い合わせ先>

県庁・出先機関

土木交通部流域政策局流域治水政策室 TEL: 077-528-4291、FAX077-528-4904、

E-mail : ryuiki@pref.shiga.lg.jp

大津・南部・甲賀・東近江・湖東・長浜・高島の各土木事務所河川砂防課

長浜土木事務所木之本支所河川砂防課

市役所・役場

各市役所〇〇課

各町役場〇松課

8. 地先の安全度マップに関する問い合わせ先など

「よくある質問への回答」についてはこちらをご覧ください。(想定Q&Aへリンク)

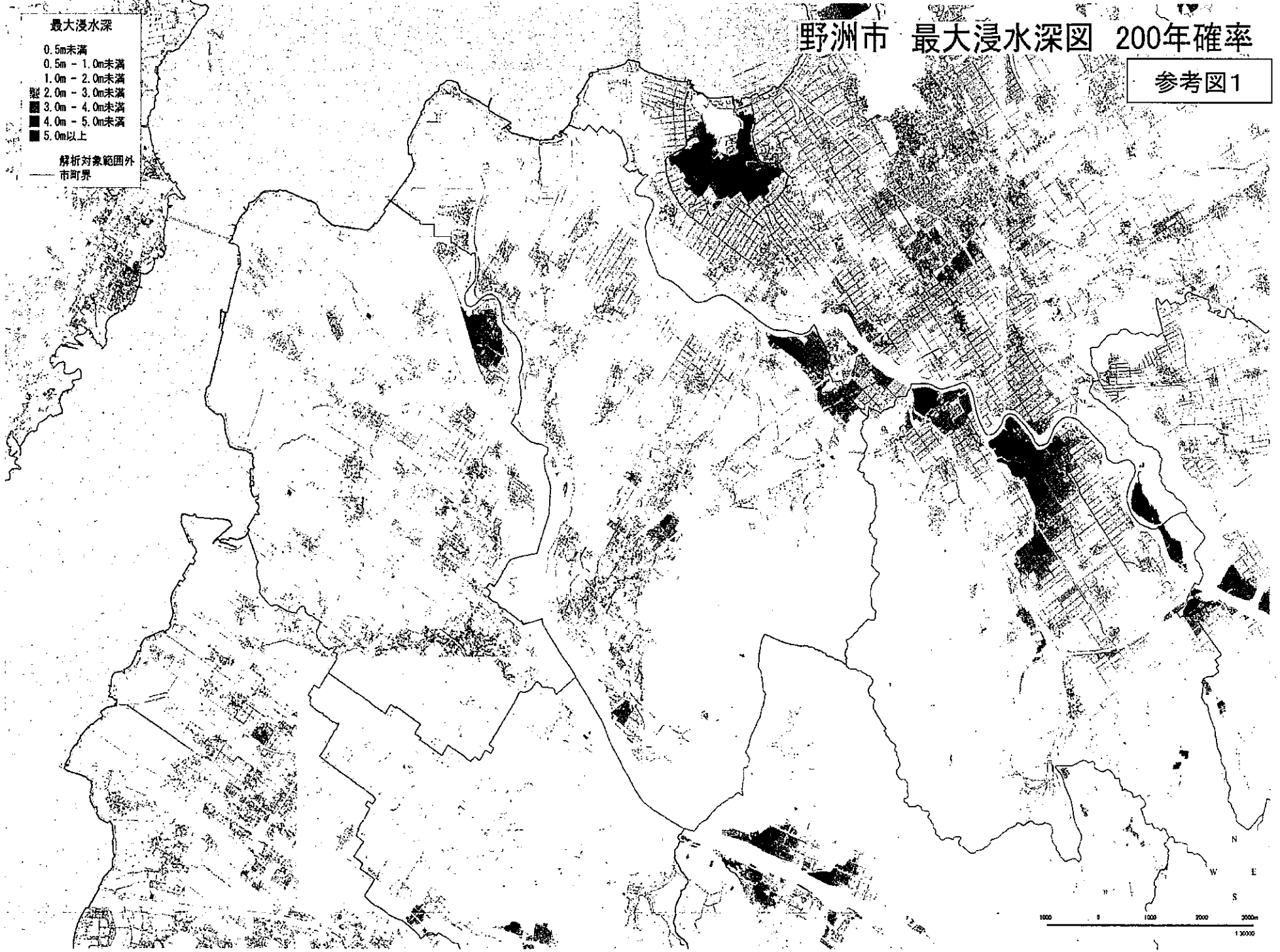
9. 地先の安全度マップの詳細な解析条件

詳細な解析条件についてはこちらをご覧ください。(地先の安全度マップ解析条件へリンク)

# 野洲市 最大浸水深図 200年確率

参考図1

- 最大浸水深
- 0.5m未満
  - 0.5m - 1.0m未満
  - 1.0m - 2.0m未満
  - 2.0m - 3.0m未満
  - 3.0m - 4.0m未満
  - 4.0m - 5.0m未満
  - 5.0m以上
- 解析対象範囲外  
市町界



1000 2000 3000  
1:30000

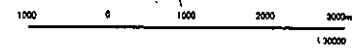
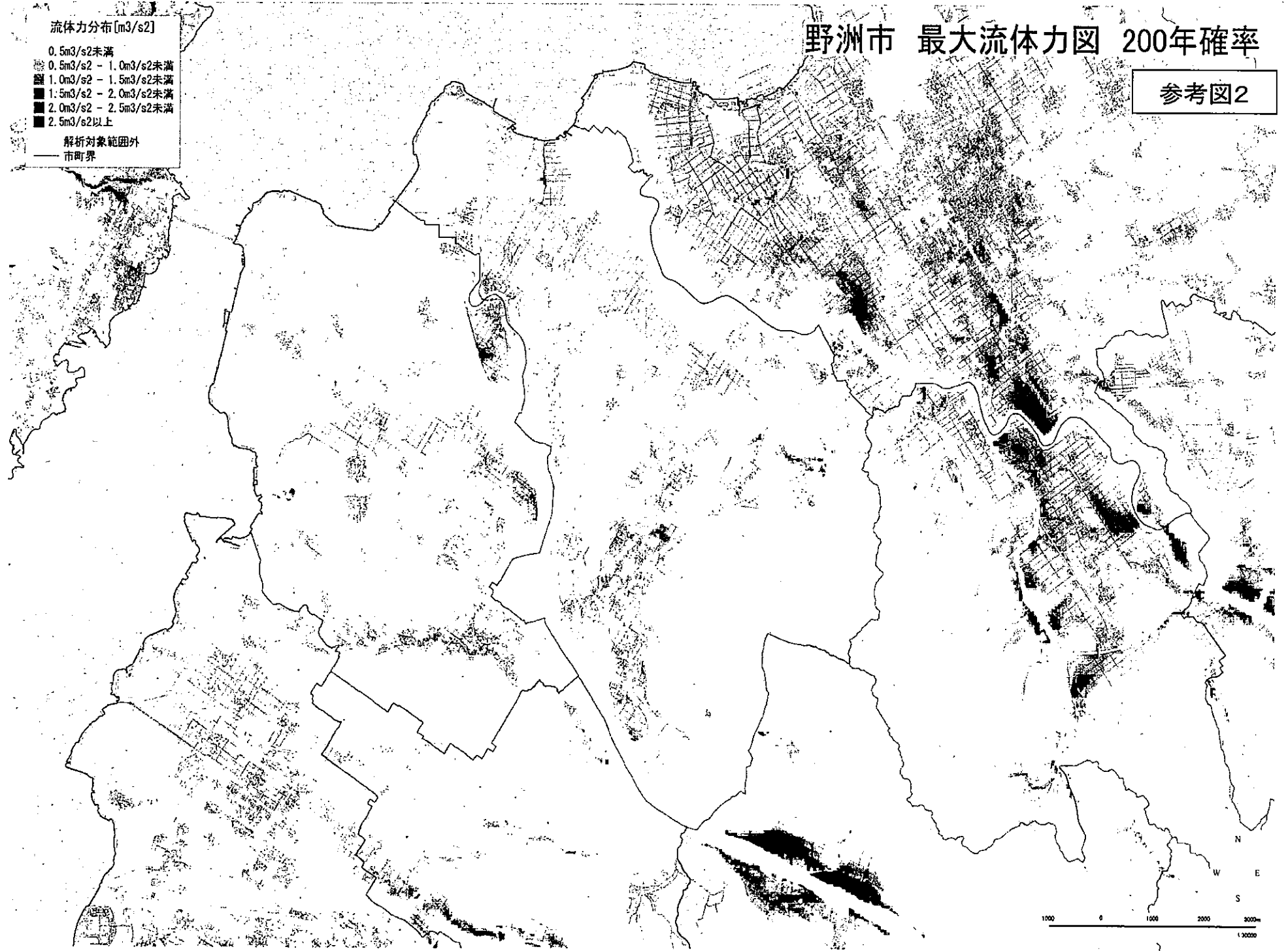
# 野洲市 最大流体力図 200年確率

参考図2

流体力分布[m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup>]

- 0.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup>未満
- 0.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> - 1.0m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup>未満
- 1.0m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> - 1.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup>未満
- 1.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> - 2.0m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup>未満
- 2.0m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> - 2.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup>未満
- 2.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup>以上

解析対象範囲外  
市町界





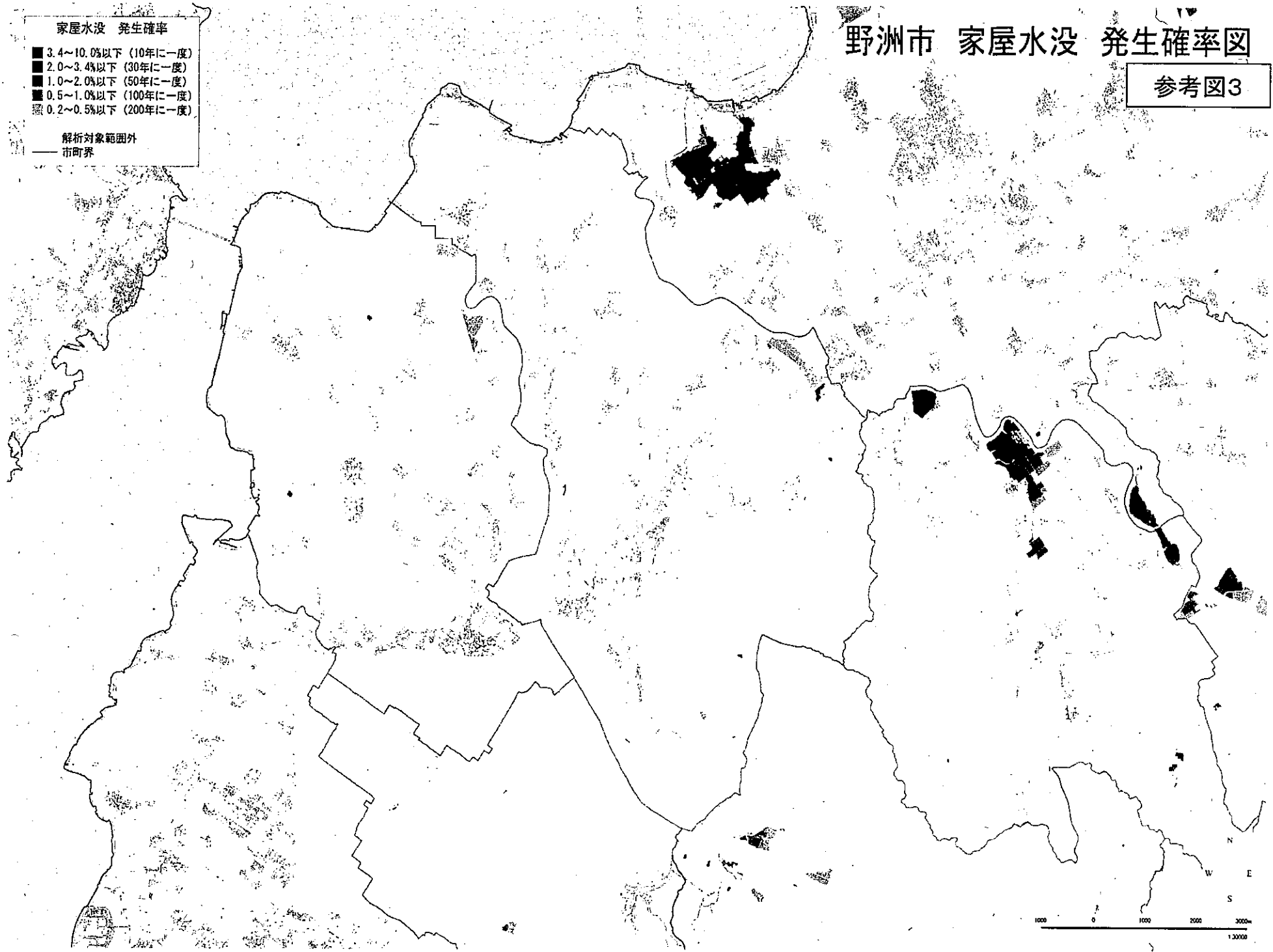
# 野洲市 家屋水没 発生確率図

参考図3

家屋水没 発生確率

- 3.4~10.0%以下 (10年に一度)
- 2.0~3.4%以下 (30年に一度)
- 1.0~2.0%以下 (50年に一度)
- 0.5~1.0%以下 (100年に一度)
- 0.2~0.5%以下 (200年に一度)

—— 解析対象範囲外  
—— 市町界



1000 0 1000 2000 3000m  
1:3000